

## 【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	脳を育てる運動療育センター ピースマイル 昭島福島町教室			
○保護者評価実施期間	2026 年 1 月 15 日 ~ 2026 年 1 月 31 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2026 年 1 月 15 日 ~ 2026 年 1 月 31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 2 月 6 日			

### ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動プログラムの実施	プログラム内容を固定化しないようにし、運動療育を行うことにより、筋力・体力の向上を目指すとともに、自信やチャレンジする気持ちなどメンタル面に働きかけるようにしている	障害特性を考慮し一人ひとりに合わせたプログラムの強化
2	満足度	プログラムの工夫や保護者の対応など可能な限りのスピード感を意識している。子どもたちとも積極的に関わるようにしている	保護者や子どもたちのニーズや流行の取入れ
3	児童発達支援と放課後等デイサービスでの多機能型で幅広い年齢層での関わり	多年齢で同じ空間での生活の中で年下の子は年上の子を身近なお手本だったり憧れの存在にし、年上の子は年下の子に教えてあげる事や手伝ってあげる事など年上である事の自覚を持つ。 児発から放デイに上がり、変わらない環境作り	年齢だけにとらわれず、トレンスジェンダーやグローバルな利用者への対応の強化

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	保護者会など保護者同士の交流の場、利用者家族向けのイベントがない	保護者が意見が割れており、必要性の見極めが必要である	交流の場として、直接の対面だけでなくオンラインなどの活用を検討する
2	各種マニュアルや防災訓練等の取組について、実施はしているものの、保護者への周知が十分に行き届いていない面がある	契約締結時に説明を行っているが不十分になってしまっている。 訓練等の周知伝達が不十分である	周知・伝達方法の見直し
3	コンテンツの量	プログラムは固定されないように工夫を行っているものの、遊びのコンテンツが少ない	情報収集の徹底 子どもたちへのリサーチ